

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

| 分野             | 景気の先行き判断  | 業種・職種   | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----------------|---|---|---|
| 家計動向関連<br>(北陸) | 良くなる<br>やや良くなる  | -   | -   |
|                |   | 一般小売店〔事務用品〕(店員)   | ・季節商品の売上増が見込まれ、商談の引き合いが増え始める。   |
|                |   | コンビニ(店舗管理)  | ・前年のプレミアム付商品券効果との対比差がなくなるため、前年比では良くなる方向である。   |
|                |   | 家電量販店(店長)   | ・昨年は7月中旬から季節商品の売上ピークに入ったが、今年はピークが遅く8月度も伸びると見込まれる。オリンピック特需も緩やかではあるが、テレビ、レコーダーが売上を伸ばしているのももう少し続く見込みである。             |
|                |   | 乗用車販売店(経営者)   | ・大手自動車メーカーの燃費不正問題が一段落したので、これからは軽自動車も含めて販売に対して動きが出ると思える。   |
|                |   | 乗用車販売店(従業員)   | ・月末から数週間、自社独自イベントの開催を予定しているので、来客数増加を期待している。   |
|                |   | 住関連専門店(役員)  | ・耐久消費財を扱う当社では、年間でも比較的動きがみられる時期に入ってくることと、来店数、販売数量が過去数か月は増加していることから、前向きな予測が立てられる。また、住宅着工件数などからも、これから動きが活発になると考えられる。 |
|                |   | 通信会社(営業担当)  | ・新型スマートフォンの発売を見込んで、総合的に販売数は増えるとみられる。  |
|                | 住宅販売会社(従業員)   | ・大型造成地の分譲が始まり、北陸新幹線延伸に向けての住宅需要が高まる。                       |   |
|                | 変わらない   | 商店街(代表者)  | ・大きな変化は期待できない。  |
|                |   | 一般小売店〔精肉〕(店長)   | ・ここ2~3か月の間に、集客が見込める商業施設がオープンする。それにより来客数は増えてくると思うが、今の状況では購買意欲がそれほど上がるとは思えないことから、差し引きであまり変わらないとみている。                |
|                |   | 百貨店(売場主任)   | ・政府の経済対策で、2,200万人の低所得者を対象に1万5千円を給付し消費を喚起すると発表があり、経済の底上げを期待している。ただし、過去の実績から効果は日常の食料品などの日用品に限定され、百貨店が受ける恩恵は薄いと考える。  |
|                |   | 百貨店(営業担当)   | ・個人消費は低迷していて、今後もプラスになる要因が無いことから変わらないと考える。   |
|                |   | 百貨店(営業担当)   | ・夏物衣料関係が猛暑で非常に売れているが、逆にメーカー側は生産を調整しており需要に供給が追いついていない。後半戦以降は苦戦が続くそうである。  |
|                |   | スーパー(店長)  | ・この6~7月の流れをみても、この先で特に環境の変化も無いということ踏まえると、特に変わらないのではないかと考える。  |
|                |   | スーパー(店長)  | ・現状のお中元や夏物商戦は今一つ売れていないのが実情であることから、これからのお盆商戦に期待している。また、来月からのオリンピック効果を期待している。                                       |
| スーパー(総務担当)     |   | ・リオオリンピックがあることで、家庭内での食品の消費が増えるプラス要因はあるが、他は現状通りで推移するとみられる。 |   |
| スーパー(店舗管理)     | ・前年のプレミアム付商品券などの影響を差し引いても、今年は競合店の出店があり、昨年より来客数の増加は見込めない。  |   |   |
| コンビニ(経営者)      | ・来客数の減少を客単価の上昇でカバーしている。特に主力系の商品、お弁当やおにぎり、麺類が前年を割り込んでいる。それをカバーしているのが、暑さのせいアイスクリームなどになっている。主力商品が現状で前年を割り込んでいる状況では、トータルの上上が上がっていくとは見込めず良い傾向ではない。 |   |   |
| コンビニ(経営者)      | ・売上は、相変わらずイベント日の天候や気温に依存する状態であることから、売上の増減はあるとは思いますが、そのほかの部分では大きな変化はみられない。   |   |   |
| 衣料品専門店(経営者)    | ・業種間で好不調があるのに加え、同業種でも好不調がある。また、大企業や役所にしか就職希望者が集まらず、今後、地方の小売はどうしたらいいかわからない。  |   |   |
| 家電量販店(店長)      | ・リオオリンピックによるテレビやブルーレイレコーダーの販売が先行した事で、年末までは変わらない状況が続くそうである。  |   |   |
| 乗用車販売店(役員)     | ・最近の受注状況は、計画分を確保しているので中間期末に期待している。  |   |   |

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 自動車備品販売店（役員）          | ・ 相対的に集客が落ちており、今年に入り変わらない状況。今後の不安要素である。  |
| その他小売〔ショッピングセンター〕     | ・ 季節商品に期待したい。新製品、話題商品が見当たらず、厳しい状況が続くそうである。   |
| 高級レストラン（スタッフ）         | ・ 週末は観光客や個人の記念日などで賑わうが、平日の法人客の利用は、接待はもちろん会費制の会合も減る一方である。   |
| 一般レストラン（店長）           | ・ 観光入込客数と地方の飲食店、商店の景況感にはかい離があり、良くなっていく方向には考えにくい。   |
| 観光型旅館（スタッフ）           | ・ 7月以降の予約保有は、9月の92%以外の月は70～85%の保有となっている。北陸新幹線開業で予約が多かった昨年と今年では大きく仕入れ環境は変化し、従来の様子に戻っている。また、九州ふっこう割の影響も出てきている。 |
| 都市型ホテル（スタッフ）          | ・ 8月の宿泊予約状況を見るとそこそこの予約が入っており、単価は下がると思われるが稼働は良く、今以上の落ち込みはないと考えられる。  |
| 旅行代理店（所長）             | ・ 特に大きな話題性がなく受注が伸びる要素が乏しい。   |
| タクシー運転手               | ・ 観光客やビジネス客などで大きな伸びは期待できない。夏にお金を使い、財布のひもも少しずつ固くなると考えられる。   |
| 通信会社（営業担当）            | ・ 前年比で来客数はやや増えているが販売量は変わっていない。ボーナスの時期なので少し動きが出ることを期待したい。   |
| 通信会社（役員）              | ・ 8月のリオオリンピックを契機に、4Kや8Kなどの高解像度映像への関心が高まっていることから、多くの専門番組を有する放送サービスの契約が今後増加すると考えている。                           |
| 通信会社（店舗統括）            | ・ 新機種発売のうわさがあるので期待したいが、大きな変化になるとは考えにくい。  |
| 通信会社（役員）              | ・ ボーナスの時期で7月は好調であったが、4～5月の苦戦を考えると2～3か月先は楽観視できない。   |
| 美容室（経営者）              | ・ 目新しい商品に対しては、多少、高額であっても客がお金を出すようになってきた。   |
| 住宅販売会社（従業員）           | ・ 客の動きは鈍化しており、新築、リフォーム共に増える様子はみられない。例年、お盆前は客の動きが良いのだが、今年は例年にも増して動きは弱い。イベントでの需要の掘り起こしは思ったほどの効果は出ていない。         |
| 住宅販売会社（従業員）           | ・ 住宅を購入するきっかけとなる要因がない。   |
| やや悪くなる                |  |
| 商店街（代表者）              | ・ 地方では、消費税増税に対応する賃金アップはなく、この夏もボーナス支給は見送りという企業が多数のようである。収入がむしろ減らされる状況では、景気が良くなるはずがない。                         |
| 一般小売店〔鮮魚〕（役員）         | ・ 今年の上半期だけで、国内外問わず今年の十大ニュースが出そろった感がある。この先もアメリカ大統領選挙などがあり何が起こるかかわからない。日銀の金融政策決定会合に期待したい。                      |
| 一般小売店〔書籍〕（従業員）        | ・ 現在と比べても良くなる要素が見つからない。  |
| 百貨店（営業担当）             | ・ 今年度に入り店全体が低迷している。まだこのような状況が続くとみられる。  |
| スーパー（総務担当）            | ・ 今後も来客数はなかなか増加せず、物価が上がる要素はない。   |
| 衣料品専門店（経営者）           | ・ 今後も浮上のきっかけは見当たらず、低価格の物でも必要な物だけを買うという流れは変わらない。  |
| その他小売〔ショッピングセンター〕（統括） | ・ 競合店オープンから1年経過したが、前年比の改善は想定を下回る。特に衣料品、食料品、飲食業種については昨年度に自店で開催したりリニューアルの反動も出ており、苦戦が続くとみられる。                   |
| 一般レストラン（統括）           | ・ 客のデフレ心理、先行き不安が影響してか、外食の回数を減らす傾向がみられる。客単価が千円以下の店ではあまりその傾向はみられないが、二千円以上の店では、その傾向が徐々に顕在化している。                 |
| スナック（経営者）             | ・ 客から楽観的な様子はみられず、経済的にも国際情勢的にも先々の不透明感が広がっている。   |
| 観光型旅館（経営者）            | ・ 夏休み期間中は前年並みの予約状況だが、9月以降はシルバーウィークの日並みの影響に加え、今年はふるさと割がないことから、大幅に客が減少するとみられる。                                 |
| タクシー運転手               | ・ 暑い時期であるにもかかわらず、相変わらず深夜の需要が少ない。   |
| 通信会社（職員）              | ・ 先行き不透明感はしばらく続き、生活必需品以外の支出は極力抑えられる。   |

|                            |                |                     |  |
|----------------------------|----------------|---------------------|--|
|                            |                | その他レジャー施設<br>(総支配人) | ・業務受託先の公益法人から、下期の業務委託を減らすと通達が出た。その穴埋めができる新たな要素がほとんどないため、売上減にならざるを得ない状況である。   |
|                            |                | 住宅販売会社(従業員)         | ・消費税増税の再延期による需要先延びと英国のEU離脱問題、円高によって経営環境が一気に悪化している。賃金の上昇が見込めない不安定な経済情勢から客は様子見になり、成約受注に進むまでの長期化は避けられない。また、大幅な集客数の減少につながっている。   |
|                            | 悪くなる           | その他専門店[酒]<br>(経営者)  | ・大企業の景気は良いが、こちらには何ら波及しないし、これから大企業が良いことばかりとは思えない。また、その恩恵がこちらに波及するまでは時間がかかるし、波及する保証もない。これからも、こうした低迷した状態は続く。  |
|                            |                | テーマパーク(役員)          | ・前年の北陸新幹線開業効果の反動もあり、国内の団体、個人旅行は前年より大きく落ち込んでいく。また、インバウンド客は、現在の為替状況や海外のさまざまな景気状況から前年と比べて動きが鈍い。全体としては悪くなる方向に考えている。  |
| 企業<br>動向<br>関連<br><br>(北陸) | 良くなる<br>やや良くなる | -                   | -  |
|                            |                | 食料品製造業(役員)          | ・この夏以降に業務用商材の販売価格が数%アップで改定される。一方で、為替の影響で輸入原材料価格が5%程度安くなる見込みなので、業績面はやや良くなると考えられる。   |
|                            |                | 建設業(経営者)            | ・大型の経済対策が発表され、今後の公共事業の発注が期待できる。しかし、当地区でどの程度期待できるかは、まだ不明である。  |
|                            |                | 税理士(所長)             | ・経営者の話を聞いていると、8月のお盆以降あるいは9月以降、ビジネスチャンスが多くまとまるという話がなぜか多い。このことから、あまり過度な景気対策をしなくても、円相場が高いなら高いなりに安定してくれば、それなりに生産態勢が回復してくると考えられる。円とドルの相場の動きが激しい時に少し止まるが、逆に安定してくれば、製造業は計画を立て直して回復してくることから、今後は良くなる見通しではないかと考える。 |
|                            | 変わらない          | 繊維工業(経営者)           | ・政府の経済政策に期待を寄せるものの、買い控えによる国内消費の低迷や輸出の厳しさなどが続くと考えられる。   |
|                            |                | 繊維工業(経営者)           | ・衣料については全体的に悪い。今後の展開は新製品開発次第である。非衣料については低位安定の状況である。  |
|                            |                | 化学工業(総務担当)          | ・今後の受注額は変わらない予定である。  |
|                            |                | プラスチック製品製造業(企画担当)   | ・英国のEU離脱問題、新興国や資源国の経済の下振れ、日銀の金融緩和追加など、予断を許さない不透明な状況である。良くなるか悪くなるか判断しづらい状況にあり、先が見通せない状況である。   |
|                            |                | 金属製品製造業(経営者)        | ・2~3か月先の注文の入り具合を見て、変わらないと考えた。  |
|                            |                | 精密機械器具製造業(役員)       | ・国内市場では不安感が相変わらず払しょくされず、今のところ仕入れ制限や商品委託の依頼があるなど、あまり好材料は見受けられない。  |
|                            |                | 輸送業(配車担当)           | ・英国のEU離脱問題の影響で、輸出関連の荷動きが不安定な状況が続く。   |
|                            |                | 通信業(営業担当)           | ・セキュリティ商材の販売は変わらずに好調である。   |
|                            |                | 金融業(融資担当)           | ・急な外部環境の変化は見込まれず、しばらくは我慢の時期である。  |
|                            |                | 新聞販売店[広告]<br>(従業員)  | ・通常、折込広告は参議院選の公示後から投票日の間までチラシの出稿が停滞し、その後に巻き返す形で出稿増になる傾向がみられる。しかし、今回は停滞したままである。   |
|                            |                | 司法書士                | ・アパート建築、マンション購入は堅調ではあるが、賃貸物件等については人口減の傾向の中で供給過剰になっている。   |
|                            | やや悪くなる         | 一般機械器具製造業(経理担当)     | ・今後、数か月間のうちに各国での政治的、経済的イベントが予定されており、それらの結果と動向次第では更なる為替の不安定化を招き、厳しい状況になると見込まれる。   |
|                            |                | 一般機械器具製造業(総務担当)     | ・英国のEU離脱問題やテロの関係で欧州市場が先行き不透明で、今後は米国や国内市場への影響が考えられる。  |
|                            |                | 建設業(役員)             | ・特に当地域において受注競争緩和の兆候はみられず、工事発注量が不透明であるため、今後さらに競争激化が続く見通しである。  |
|                            |                | 金融業(融資担当)           | ・建設関係は当面の大型工事が少なく、しばらく我慢が続くと聞いている。   |
|                            |                | 不動産業(経営者)           | ・法人客が少なくなってきたり、個人客からの問い合わせもかなり少なくなっている。  |
|                            | 悪くなる           | -                   | -  |
| 雇用<br>関連                   | 良くなる<br>やや良くなる | -                   | -  |

|        |                 |  |   |
|--------|-----------------|--|---|
| (北陸)   | 変わらない           | 人材派遣会社（役員）   | ・派遣人材が集まらないため、需要先に迷惑をかけている状況である。  |
|        |                 | 人材派遣会社（社員）   | ・7月の参議院選に関連した短期の派遣登録者数は多かったが、新規の長期派遣登録者数の減少は当分続きそうである。                                |
|        |                 | 求人情報誌制作会社（編集者）   | ・大きな雇用計画の話が出てこない。   |
|        |                 | 新聞社 [ 求人広告 ]（担当者）  | ・現在のところ大きな変化の兆しなどはなく状況が変わらない。   |
|        |                 | 職業安定所（職員）  | ・求人、求職の状況において、現在、大きく動向が変わる要因は見当たらない。有効求人倍率の高止まりの状況が続くことが見込まれる。                        |
|        |                 | 職業安定所（職員）  | ・製造業の輸出関連会社が、英国のEU離脱問題で生産について少し様子を見ている。景気が落ち込むということはないが、製造業を中心に求人が横ばいとなるのではないかと考えている。 |
|        | 民間職業紹介機関（経営者）   | ・今後、受注が増えてきた時の人材確保がより一層難しくなってくる。                         |   |
| やや悪くなる | 職業安定所（職員）       | ・ほとんどの事業所では今のところ円高の影響はないとのことだが、今後何らかの影響が出てくるだろうと不安視している。 |   |
|        | 学校 [ 大学 ]（就職担当） | ・不安材料を抱える世界経済の下では、製造業などの企業で採用の様子見の状態が続くのではないかと考えられる。     |   |
| 悪くなる   | -               | -  |   |